

「主体的・対話的で深い学び」の姿（ピクトグラム）

○新学習指導要領に示された指導事項を確実に育成するため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について理解し、今後の学習指導の充実を図ることを目的として作成した。

○授業における生徒の姿、授業における教師の手立てについては、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」（国立教育政策研究所）及び『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり アクティブ・ラーニングノススメ in かがわ」（香川県教育センター）を参考に研修部でまとめた。

○各教科における具体的な学習活動例については、教科部会において出された意見を研修部で集約して教科毎にまとめた。

○ピクトグラムは、独立行政法人教職員支援機構主催の次世代型教育推進セミナーで示されたもので、主体的・対話的で深い学びにより実現したい子どもの姿をイメージとして表したものである。ただし、全ての姿を表現したものではない。

【主体的な学び】

ピクトグラム	授業における生徒の姿	授業における教師の手立て	各教科における具体的な学習活動例
 <p>興味や関心を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことに興味や関心をもっている 課題の解決に対する目的意識を明確にもっている <p>なぜかな？ 知りたいな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を振り返る 具体物を提示して引きつける 生徒が明らかにしたくなる学習課題を設定する 目的意識、相手意識を明確にした課題を設定する 挑戦意欲や知的好奇心をかき立てる課題を設定する 生徒の問題意識から課題を設定する 具体物や体験活動等を取り入れ、驚きや疑問等を生み出し、課題につなぐ場を設定する 認識が揺さぶられる課題を設定する 認識のずれを生み出す情報の提示を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> 作者や教材に類似した写真を提示する（国） 問題の把握、予想を立てさせる（数） 時事問題や企業の活動を取り上げる（社） 資料（実物）を提示する（理） 演示実験を行う（理） 映像、画像、オーセンティックな教材（実物）を提示する（英） ワードゲーム、クイズ（ラインゲーム等）（英） オリエンテーション（体） 身近な材質について調べさせる（技） どんな場面が想像されるか等、テーマをもって曲を聴く（音） 鑑賞後、実際に筆・墨に触れる（美） ?ボックスを活用する（特）
 <p>見通しを持つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見出す 単元全体や本時の見通しをもっている ゴールをイメージしながら解決しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自らめあてや目標をつかむようにする 学習課題を解決する方向性について見通しをもたせる 予想や仮説を立てさせる 生徒が自分の考えをもつようにする 既習事項や前時までのつながりを意識する場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れをプリントに示す（国） 自分なりの考えを予想、発表、提示させる（国） 予想を立てさせる、帰納的な考え方をさせる（数） 実験計画、予想を立てさせる（理） Can-do リストを用いた実践（英） 授業のパターン化、スタンダードの確立（英） オリエンテーション（体） 試しの活動で得た技法や知識を元に、何が描けるか、何を描きたいかを決めさせる（美） ?ボックスを活用する（特）
 <p>自分と結び付ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己のキャリア形成の方向性と関連付けている 課題の解決に向けた自分の思いや願いをもち、進んで解決しようとしている 得られた解や学びの過程を自ら見つけ直そうとしている 自分の成長について気付き、さらにどのようになりたいか（したいか）について表現している 	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択や自己決定をする場を設定する 自己の考えを整理したり、構造化したりする場を設定する 自己の変容を自覚する場の設定や助言をする 実社会や実生活とのつながりについて気付く資料等を提示する（視野を広げる工夫） 	<ul style="list-style-type: none"> 導入やまとめで、登場人物や筆者の考えを自分の身の周りに置き換えて考えさせる（国） 「もし自分が〇〇の立場だったら」と考えさせる（社） 自分のことについて表現する活動を行う（英） 読み上げたカードについて「自分のことかな」と考えさせる（特）
 <p>振り返って次へつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己の学習活動を振り返って次につなげている 自らの学びに自信をもち、さらに学ぶ意欲を高めている 新たに生じた問いや疑問について解決方法を考えようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の考えを生かしてまとめる 新たな学びに目を向けさせる 生徒の学びの過程に対して価値付けをする 新しい課題への意欲喚起をする 学んだことを生かし、自ら挑戦したくなる課題を提供する 振り返りの視点を共有し、互いの良さや課題に気付くような助言をする 	<ul style="list-style-type: none"> 感想や考えをまとめさせる（国） 学んだことをノートに書く（国） 練習問題に取り組みさせる（数） 複数の課題に取り組みさせる（数） 授業のまとめを行う（理） 小テストを実施する（英） 本時の振り返りを実感できる活動を行う（英） 実生活で学習内容がどのように生かせるか考えさせる（英） 授業の振り返りと次時の課題を確認する（体） 録音を聴いて改善したい点を書き留める（音） SSTそのもの（特）
 <p>粘り強く取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた方法で探究しようとしている 困難な課題にも諦めずに取り組もうとしている 一度得られた解決方法について、さらに良い方法がないか、他の方法を試そうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の思考を見守る 生徒の思考に即して授業展開を考える 一人で解決方法等を考える時間を確保する 自分の考えた方法で探究する場を設定する 挑戦意欲をかき立てる助言を行う 生徒が自ら情報収集できる環境作りを行う 生徒が思考したり表現したりしたことを評価する 	<ul style="list-style-type: none"> 本文から該当箇所を見つけさせる（国） 演習問題に取り組みさせる（国） 個人思考（課題解決）（数） 練習問題に取り組みさせる（数） 自習（練習）ノートの学習に取り組みさせる（英） できるようになるまで練習を続ける（体） 作品を見直ししながら、余白、白黒のバランス等にも目を向け、制作する（美）

【対話的な学び】

ピクトグラム	授業における生徒の姿	授業における教師の手立て	各教科における具体的な学習活動例
 <p>共に考えを創り上げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協働を通じ、自己の考えを広げ深めている 問い返ししながら相手の思いや考えを理解し、共有しようとしている 互いの思いや考えを納得するまで伝え合い、分かり合おうとしている 他者と共に学ぶことの良さを実感している 考えを統合したり、よりよい考えを見いだしたりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 交流のめあてをもったり、交流する意義を理解したりするような助言を行う 目的に合った小集団の設定や交流方法を工夫する 必要感のある交流の場（時間とタイミング）を設定する ペアや少人数のグループで、学習成果や学びの過程を吟味する場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合うことでより良い考えを生み出す（国） 班としての見解をまとめる（理） ペアでのスキット（対話）づくりを行う（英） 創作ダンス（体） 集団マツト（体） どのように演奏したら改善できるかを話し合い、練習方法を考えさせる（音） トマトの栽培を通して、果実の収穫まで協力して行う（技） 他者の課題を自分に置き換えて考える（特）
 <p>協働して課題解決する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考える視点を他者と共有している 課題を解決するために、多様な考えをもつ他者に関わろうとしている 他者の学びの良さに気づき、伝えたり自分に生かしたりしている 他者評価を通じて自分の学びの良さや課題に気付いている 	<ul style="list-style-type: none"> 集団で解決する必要性のある課題を設定する 解決方法が多様な課題を設定する 考える視点を共有する場を設定する 予想に対する意見を話し合い、解決方法について吟味する場を設定する 多様な他者からの評価（相互評価）の場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の意見や考えを持ち寄ってグループで話し合う活動を行う（国） 集団解決をはかる（数） 実験を行う（理） 本文の内容理解を相談しながら進めさせる（英） 戦術（チームプレー）を考え、実践できるようにする（体） 製作者の意図を読み取る活動で、自分の見えなかった視点を知ることができる（技）
 <p>互いの考えを比較する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えとの違いに気づき、その理由を知ろうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 思考を交流させる 「問い返し」のある応答をする交流へ助言を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 集団解決をはかる（数） グループ・ペア解決をはかる（数） 考察（話し合いや意見交流）（理） スピーチ、英作文等を見合い、チェックし合う（英） 自分たちの作品について、グループ鑑賞で、技法や良い所を交流する（美） 他人の考えや行動を自分と比較して考えを深める（特）
 <p>思考を表現に置き換える</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考えの根拠をもって、多様な表現で伝えようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を通じて思考を広げさせる 効果的な交流を行うための可視化の工夫（根拠のある交流の場）を行う 共通体験の場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 班で考えたことをホワイトボードにまとめる（国） 予想→個人思考の表現（数） 考察（自分や班の考えを言葉で表す）（理） スピーチ、英作文（英） 社会問題について表現する（英） 作戦を実行する（体） 技法（試しの活動）→こんなものが表現できそう（美） 描きたいものから→どんな技法を用いて描こうかな（美）
 <p>先哲の考え方を手掛かりとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師との対話を通じ、自己の考えを広げ深めている 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深めている 先哲の考え方を手掛かりに考えている 	<ul style="list-style-type: none"> 人的、物的な教材の工夫 板書や発問で生徒の学びを引き出す 	<ul style="list-style-type: none"> 有名人のスピーチを生かし、自分のスピーチを作り考えをまとめさせる（英） 模範映像を観る（体） 過去の作品を鑑賞する（美） 身近な製品について調べ、安全性や環境負荷等について調べる（技）
 <p>多様な手段で説明する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことや新たな疑問等を他者に伝えようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 学習効果を他者に伝え、質問や疑問を受ける場を設定することで、方策を再検討する時間を保証する 	<ul style="list-style-type: none"> 実物投影機を用いた活動（国） ホワイトボードを用いた活動（国） 多様な視点・見方で説明して集団解決をはかる（数） 班の考えを発表する（言葉、図解など）（理） プレゼンテーション、ジェスチャー、図表を用いた活動、実物を見せる（英） ICTの活用（体） デモンストレーション（体） 分かりやすい事例を出して説明する（特） 自分の体験をみんなの前で話す（特）
 <p>多様な情報を収集する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決につながりそうな情報（資料）を探したり、選択・吟味したりしている 解決策につながる情報（資料）を収集・精査している 自分の学びの過程や解決のために活用した情報（資料）を再度見直し、その良さや課題を見いだしている 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決につながる情報提供を行う 他者との学び合いや多様な情報収集・精査によって課題が解決したことへの価値付けを行う 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット、本、インタビュー（国） 相談活動、資料収集（理） ALTの活用（授業のネタなど）（英） ICTの活用（ダンス youtube 等）（体） 他の人が引いたカードの内容を聞いて、社会のルールを知る（特） 本や日常の学校生活の様子から適した事例を見つける（特）

【深い学び】

ピクトグラム	授業における生徒の姿	授業における教師の手立て	各教科における具体的な学習活動例
 思考して問い続ける	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの根拠をもち、その考えを検証したり、最適解を求めたりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の特質に迫る課題を設定する 解が一つでない課題を設定する 困難性のある課題を設定する 試行錯誤の場を設定する 問いが連続する課題や授業展開を工夫する 多様な解の中から、最適解を選択する場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動すべて（数）
 自分の考えを形成する	<ul style="list-style-type: none"> 情報を精査して考えを形成する 解決のための多様な判断材料を集めて精査し、自分の考えを形成している 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に立ち戻り、解決の方向性を確認する場を設定する 共通体験に基づいて、解決方法を多面的・多角的に考える場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 他の意見を聞いた上での個人思考（数） 個人考察（理） 新しいターゲットセンテンスの問題・気づきを考え、発表し、練り合う（英） 複数の例文を元にして、きまりの一般化について考える（英） 長文読解（文の前後から意味を類推する）（英） 提示された文型を使ってスピーチをしたり英作文を作る（英） 学んだ技術や戦術を生かして実践する（体） 筆や墨の特徴を生かして自分が描きたいものに結び付ける（美） 歌詞から自分が感じ取ったことが、曲の中でどのように表現されているかを読み取る（音）
 自分の思いや考えと結び付ける	<ul style="list-style-type: none"> 分かったこと（できたこと）とまだよく分からないこと（できていないこと）を整理している 得られた解を自分の言葉でまとめ表現している 自分の解決の仕方を見つめ直し、その良さや課題を表現している 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学びを自分の言葉（表現）でまとめる時間を確保する 自己評価の場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> まとめの段階において、自分や身の周りのものと置き換えて考える（国） 比較して共通点等を見つける（数） 教科書の題材に対して、自分の思いや考えと結び付ける（英） 健康面、安全面等の視点を生かす（体） 完成に向けて、ワークシートに自分の作品の解説、工夫を書き込む（美）
 新たなものを創り上げる	<ul style="list-style-type: none"> 問いを見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする 一つの課題が解決しても、次の問いが生まれている 次の学びにつながる課題を見いだしている 	<ul style="list-style-type: none"> 思考を揺さぶり、学びの過程を再考する場を設定する 新しい課題を見いだした生徒への称賛と交流の場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 覚え方や決まりを自分なりに生み出す（英） みんなが安心・安全に楽しむためのルール作り（体） 自分の作りたいものを使用目的や使用条件に合わせて構想する（技）
 知識・技能を活用する	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせている 学習成果を別の場面で生かしたり、他の解決方法を試したりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 実社会や実生活で活用できる課題を設定する 実社会や実生活、既習の学び、他教科との関連を価値付ける 学びを他の場面で活用したり、新たな疑問を生み出したりする情報提供や場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の学習（国） 仲間さがし、短文づくり（国） ワークシートやテスト、まとめの応用問題に取り組みさせる（英） 製図のきまりに沿って自分の考えを具体化する（技） 社会のルールについて学んだことを日常生活で実践する（特）
 知識・技能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことの意義や、その教科等の特質に応じた学びの面白さを実感している 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいや各教科等の特質に応じた思考を可視化する 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や古文の音読（国） 練習問題に取り組みさせる（数） 材料の加工法や組み方を知ることによって理解を深める（技） 社会のルールについて学ぶ（特）
 知識や技能を概念化する	<ul style="list-style-type: none"> 知識を相互に関連付けてより深く理解する 多様な考えを比較・関連付けし、解決している 解決のために、既習事項や経験と重ね合わせたり、つないだりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の考えを比較・関連付けする場を設定する 他教科等の学びと関連付ける場を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> まとめの段階において、登場人物の考えを自分に置き換えたり、筆者の考えに対して自分の考えをもったりする（国） 規則性を見いだす（理） 他の現象を説明する（理） 自分の設計したものを製図のきまりを守り表現する（技）